

# 私たちは、おうえんズ

多治見市昭和地域民生児童委員協議会

JR多治見駅南口に降り立つと、ここから私たちのエリア昭和地域です。直線距離で南に約2.8キロ、東西広い所で800メートルの区域の中で民生委員17名、主任児童委員2名で活動をしています。

現在、多治見駅南地域は、市街地再開発計画として建設途中であり、29階マンション、ホテル、商業棟など高層ビル群が来年度の完成予定で工事が進んでいます。ここ毎年のようにマンションができあがり、流動があるにもかかわらず人口低下をしています。現在人口約七千八百人、高齢者比率32・15%の地域です。

## ワンチームで楽しく行動を

昭和地域民生児童委員協議会の特徴は、月一回の定例会終了後にメンバーだけの自主定例会を開くことです。そこで自主事業の協議・決定、事例報告があれば意見交換もします。なかでも一番誇れることは、定例会の出席率が良いことです。ほぼ全員出席です。

『ワンチームで楽しく行動を』をキャッチフレーズに、せっかく人生の後半に知り合えた皆さんです。どうせやるなら楽しくやりましょと、食事会も多いです。もちろん研修旅行もあります。楽しいことを計画しながら、地域活動を一生懸命行なう。これが、私たちのモットーです。

## ふれあいサロンを開催して

継続事業としての通常は、年一回地域全体の「ふれあいサロン」を開催しています。一人住まいの方60名ほど参加していただき、抹茶・お菓子のサービスからリズム体操、ママさんコーラスを交えた音楽会。そして昼食を挟んでビンゴゲームと移ります。近くの友人も大切ですが、垣根を越えた交流も必要と思います。

また、コロナ禍においては、この4月から各地域で20名程にて月一回のサロンを開催しているところもあり、数時間でも楽しい時を提供できれば本望です。



▲大畑公民館ふれあいサロンの様子

## 若い人の力を借りて

「民生児童委員と語る会」があります。全クラス参観後、校長、教頭、生活指導の先生を交えて危険な場所の再確認、生活態度、各地域で気づいたことなど意見交換をします。残念ながら昨年、今年と中止になりましたが、鉢植えを一人住まいの方に届けて下さいと子どもたちから依頼がありました。それは、一生懸命育てたパンジーとビオラの鉢植えで、一つ一つ書きのメッセージカードが付いています。ある二年生の男の子は

「ぼくは、毎日学校でがんばって、楽しくやっています。元気にいてください」と書いてありました。返信用のハガキも用意してくれ、早速届けると「かわいい」。育て

るね」「花が咲いたらハガキ書くね」と喜んでくれました。

中学の生徒たちは、野外奉仕活動の一環として、毎年年末に希望される一人住まいの高齢者宅に赴き掃除をしてくれます。5.6人のチームで、草取り、玄関先の掃除、窓ふきなど寒中頑張ってくれますが、その後の時間が大切です。世間話、挨拶の仕方、また舞踊の師匠だった方は、「黒田節」のさをりを教えてくれます。初めての踊り、笑い、高齢者との交流、とても良い風景です。

少子高齢化が進む現在、必然と騎馬戦型から肩車型に移行するのは、それほど速くはない。今必要なことは高齢者と若い人の関わる行事に時間をかけることであり、民生児童委員はその架け橋になればと思います。



▲令和3年4月 子どもたちのメッセージカード付鉢植え